

総論(第1章)

- 栃木県における自転車施策に関する基本計画(自転車活用推進法第10条に基づく都道府県計画)
- 計画期間は、次期プラン(県政の基本指針)の期間を考慮し、2020~2025年度(6年間)

自転車に関する栃木県の現状と課題(第2章)

利用環境

- (1) 交通手段としての自転車
- (2) 自転車通行空間
- (3) 駐輪場
- (4) シェアサイクル・レンタサイクル

健康

- (5) 健康づくり・スポーツ活動

観光

- (6) 自転車関連イベント
- (7) サイクルツーリズム

安全安心

- (8) 自転車に関係する交通事故
- (9) 災害時における自転車の活用

計画の推進(第5章)

- 市町との連携・官民連携
- 計画は定期的にフォローアップ・見直し

目標(第3章)と施策(第4章)

◆目標1 自転車を利用しやすい快適な“とちぎ”

- 施策1 誰もが安全で快適に通行できる道づくり等の推進【自転車通行空間整備 等】
- 施策2 地域のニーズに応じた駐輪場の整備推進【公共交通と連携した駐輪場整備 等】
- 施策3 路外駐車場等の整備及び違法駐車取締りの推進【適切な規制・積極的な取締り 等】
- 施策4 シェアできる自転車の導入推進【レンタサイクル事業支援 等】

《指標》歩行者と分離された自転車通行空間の整備延長(県管理道路):55km[2025年度]
自転車の交通手段分担率(通勤通学):現状の水準(11.8)より上昇[2030年度]

◆目標2 自転車で楽しく健康な“とちぎ”

- 施策1 サイクルスポーツ(自転車を利用した運動)の促進【都市公園のサイクリング施設の充実 等】
- 施策2 自転車を活用した健康づくり【スポーツ関係団体と連携した広報啓発 等】

《指標》本県成人の週1日以上スポーツ活動実施率:65%[2025年度]

◆目標3 サイクルツーリズムで成長する“とちぎ”

- 施策1 サイクルツーリズムの推進【魅力的なサイクリング環境(モデルルート)の創出 等】
- 施策2 自転車関連イベントの開催等【参加型イベントの開催 等】
- 施策3 シェアできる自転車の導入推進(再掲)

《指標》観光客入込数:現状の水準(9,228万人)を上回る[2025年] モデルルート:県内全域に拡大[2025年度]

◆目標4 自転車を安全に利用できる安心な“とちぎ”

- 施策1 交通事故ゼロを目指す交通安全活動の推進【交通安全教室の開催 等】
- 施策2 まちづくりと連携した総合的な取組の推進【自転車通行空間整備(再掲) 等】
- 施策3 万が一に備えた自転車保険加入の促進【保険加入の広報啓発 等】
- 施策4 災害時における自転車の活用【災害対応職員の参集手段としての利用 等】

《指標》自転車に関係する交通事故の件数:800件以下[2025年]



自転車施策の総合的・計画的な推進による「自転車先進県とちぎ」のさらなる発展